

エスケー下地挙動緩衝材

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

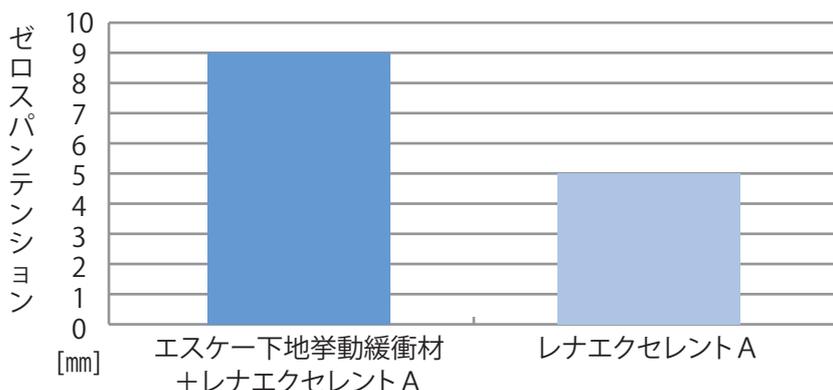
■ はじめに

公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）の第4章外壁改修工事の仕上材として JIS A 6021 建築用塗膜防水材料が追加されました。この特記仕様の「下地挙動緩衝材」に該当するのが「エスケー下地挙動緩衝材」です。

「エスケー下地挙動緩衝材」で下地のひび割れを処理することで、JIS A 6021 建築用塗膜防水材料で改修した場合にひび割れ追従性を向上させる材料です。

■ 特長

● ひび割れ追従性



【ゼロスパンテンション試験】

(社内法)

切欠フレキを下地として、
①レナエッセレント Aのみ
②エスケー下地挙動緩衝材 + レナエッセレント A
を塗付したものを試験体として
引張速度 5mm/min で測定を行う。

● 作業性

一般的なひび割れ補修工事で発生する粉塵の飛散がなく、作業性にも優れます。

■ 用途

JIS A 6021 外壁用塗膜防水材料仕上げを行う内外壁のひび割れの処理

■ 適用下地

コンクリート・セメントモルタル

■ 荷姿

4kg 缶

【危険情報と安全対策】

- ・製品の取り扱い、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
- ・ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

【施工上の注意】

本製品には、揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。
※施工上の注意点について、詳しくは最寄りの各営業所にお問い合わせください。

■ 標準施工仕様

平成 31 年度版公共建築改修工事標準仕様書

● 吹付け工法

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	下地処理	下地の種類、劣化状態に応じ、公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）に基づき、適切な工法を選択し、躯体の補修を行ってください。							
2	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないように除去する。							
3	下塗り	水性ミラクシーラーエコリヤール	既調合	0.10~0.30	1~2	2以上	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
4	(下地挙動緩衝材)	エスケード下地挙動緩衝材	既調合	0.5以上	1	—	3以上	—	刷毛
5	増塗り	レナエクセレントA主材	100	0.5~1.0	1	—	3以上	—	リシンガン 口径：4~6mm 圧力：490~686kPa (5~7kgf/cm ²)
		清 水	—	—					
6	主材塗り① 基層塗り	レナエクセレントA主材	100	1.7~2.0	1	—	3以上	—	リシンガン 口径：4~6mm 圧力：490~686kPa (5~7kgf/cm ²)
		清 水	3~5	—					
7	主材塗り② 模様塗り	レナエクセレントA主材	100	0.7~0.9	1	—	凸部処理 0.5以内 吹放し 18以上	—	タイルガン 口径：6.5~8mm 圧力：392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
		清 水	0~2	—					
8	(凸部処理)	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				—	18以上	—	—
9	上塗り	水性弾性セラミシリコン*	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
		清 水	0~20	—					

● ローラー工法

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	下地処理	下地の種類、劣化状態に応じ、公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）に基づき、適切な工法を選択し、躯体の補修を行ってください。							
2	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないように除去する。							
3	下塗り	水性ミラクシーラーエコリヤール	既調合	0.10~0.30	1~2	2以上	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
4	(下地挙動緩衝材)	エスケード下地挙動緩衝材	既調合	0.5以上	1	—	3以上	—	刷毛
5	増塗り	レナエクセレントAローラー用主材	100	0.5~1.0	1	—	3以上	—	M-9ローラー (マスキックローラー)
		清 水	—	—					
6	主材塗り	レナエクセレントAローラー用主材	100	2.0~2.4	2	16以上	18以上	—	M-9ローラー (マスキックローラー)
		清 水	2~3	—					
7	上塗り	水性弾性セラミシリコン*	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
		清 水	0~20	—					

- エスケード下地挙動緩衝材は特記によります。
- ひび割れ幅が0.5mmを超える場合はプライマー施工前にポリマーセメントモルタルを擦りこんでください。
- 下地挙動緩衝材は幅0.2以上2.0mm未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長上50mm以上に50mm程度の幅で0.5kg/m²を端部に段差のないように刷毛により塗り付けてください。
- 増塗りの量は、下地に応じて適宜増量してください。
- 凸部処理では、灯油などの他の材料の使用は避けてください。
- 上塗材の希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- 上塗材の希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口部回りなどに、刷毛などにより、端部に段差のないように塗り付けてください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

* この他上塗材として、SK水性ELコート、水性弾性コンポウレタン、水性弾性セラタイトF等もご使用いただけます。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。